

現地を見ての感想

前回のアイデアをふまえて現地を確認しました。参加者のみなさんの感想には次のようなものがありました。

- 休憩広場ははじめて知った。あまり使われていないようである。使いにくい場所は新しい公園に作らないようにしたい。
- 今のモニュメントの場所はビューポイントなので、高いものを設置するのはやめよう。
- モニュメントは良い場所にあるが、説明がなく、メッセージがわからなかった。
- 県道の電線が気になる。地中化できないか。



新しい公園でこれが大事と思う日常の利用は？

グループでの検討の前に、「新しい公園でこれが大事と思う日常の利用」についてシール貼りアンケートを行いました。

項目	競技スポーツをする	広場で自由にスポーツ・運動をする	競技場やナイター設備を一般利用する	部活帰りなど日常的にふらっと立ち寄り自由に楽しむ	ピクニック・バーベキューなどみんなで楽しむ	ボール遊び、遊具遊びなどさまざまに遊ぶ	ジョギングやウォーキングをする	出店やマルシェ、朝市などを開催する	いろいろな大規模イベントや防災訓練をする	体育祭や運動会をする	彦根城と一体的に観光コースとして利用する	日常的に金亀公園と一体的に利用する	水辺周遊やサイクリングコースの一部にする	集会等みんなで使う	彦根の四季・自然を感じる	その他
投票		●●●	●●		●	●●●		●●	●	●●●●●	●●	●	●			
合計	0	3	2	0	1	3	0	2	1	0	5	2	1	1	0	

新しい公園として、彦根城とともに観光拠点になること、また、競技者だけでなく一般市民がスポーツ・運動、遊びなどに使いやすい公園になることが大事だとの意見が多くなりました。

参加者の感想 (抜粋)

- ・少し具体的な話になりイメージができた。
- ・色々なアイデア、視点があり参考になりました。
- ・市民、地元の意見がどれだけ伝わるのかが楽しみです！
- ・参加者が少なかったことが残念。

暑い中お疲れ様でした！

ワークショップに関するお問い合わせ先

滋賀県 県民生活部 スポーツ課 担当：大橋・長坂・北川
 住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
 TEL：077-528-3363 Fax：077-528-4832
 E-mail：kokutai@pref.shiga.lg.jp

(仮称) 彦根総合運動公園整備事業

みんなで考える公園づくり

ワークショップ ニュース 2

夏本番！琵琶湖が多くの人でにぎわう季節となりました。

平成 28 年 8 月 滋賀県

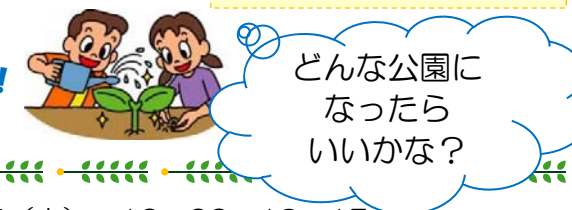
滋賀県では平成 36 年に開催される第 79 回国民体育大会と第 24 回全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる「(仮称)彦根総合運動公園」の整備計画づくりに取り組んでおり、より良い公園づくりに向けて、みなさまのアイデア、ご意見をお聞かせいただく、ワークショップ(全 3 回)を開催しています。

7 月 23 日に第 2 回ワークショップを開催し、第 1 回ワークショップで出されたアイデアをふまえて現地を確認した後、計画図を見ながら、アイデア等を取りまとめました。



●ワークショップとは
 みんなでワイワイとアイデアや意見を出し合い、より良い公園づくりを考えます。

ワークショップの様子と内容をニュースにまとめました！



第2回ワークショップの様子

日時：7月23日(土) 10:00~12:15
 場所：県立彦根総合運動場内 スイミングセンター大会議室
 参加者：7名



① 前回のおさらいからスタートしました



② 前回のアイデアをふまえて現地を確認しました



③ 県から前回のアイデア実現に向けた課題の説明がありました



④ 各グループで考えたことを発表し全体で共有しました



⑤ グループに分かれてアイデアを取りまとめました



⑥ シール貼りアンケートで前回のアイデアを見直しました

ワークショップの予定



第1回
 「新しい公園でこんなことができたらいいな」
 6月18日(土)

第2回
 「イメージをふくらませよう」
 7月23日(土)

第3回
 「こんな公園づくりをめざそう！」
 8月27日(土)

今回は、第1回ワークショップで考えた利用のアイデアをふまえて現地を確認した後、計画図を見ながらアイデアをまとめていきました。



競技場の一般利用イメージ

第1種陸上競技場

- 専門的な競技が中心になるだろうが、オープンに一般利用もできるようにする。
- 地域の子どもの練習場にもなる。
- 収益も必要なのでコンサートや大イベントも開催する。

連絡橋

- ポートの邪魔になるので、旧港湾の中に柱をつくらない。
- 公園をつなぐ橋はバリアフリーにする。(エレベーターが必要では)

金亀公園側の多目的広場

- 広場で自由にスポーツ・運動をする。
- ポール遊び、遊具遊びなどさまざまに遊ぶ。
- 人工芝の広場が良い(雨でも使える、養生期間がいらぬ、子どもが裸足で遊べる)
- 照明など景観に配慮する。(ナイター照明の支柱がなくなる)
- 多目的広場は使いやすい場所に配置する。(使い勝手は利用者で考える)



多目的広場の利用イメージ



山への景観を確保した例

駐車場

- 国体後は駐車場の台数が少なくすむのでは。
- 国体終了後は土の広場にしてはどうか。(一般利用ができるサブグラウンド)



さまざまな楽しみ方のイメージ

緑の広場

- 緑の広場は親子利用を考えて、駐車場の近くにしてほしい。
- 広場全体を広く、大きく使う。
- BBQ 利用、ボール遊びなど気軽にいろいろな利用ができるよう工夫する。
- テニスコートの場所を再考してはどうか。

野球場

- 専門的な競技利用

エントランス広場

- 緑の広場と連携し、イベント等を実施する。
- せせらぎについては、見る水か、利用する水か方向性を決める。
- 浄化センターの水が引き込めるのでは。



サイクルセンターのイメージ

エントランス広場と県道の交差点

- 彦根城の撮影ポイントになる景観スポットとして考える。
- 景観を考えると電線の地中化が必要。
- ビューポイントに景観を阻害する高いものを設置しない。



イベントのイメージ

その他

- 簡易宿舎としても利用できるサイクルセンターを整備する。(収益に結び付く)
- 総合運動公園と金亀公園は整備時期をずらしてほしい。(利用できない時期を少なく)
- トイレを増やす
- 死角がないようにする。

金亀公園・彦根城との一体化

- 金亀公園との役割分担を明確にし、県と市で施設の一体化や利用の住み分けを調整する。(多目的広場の利用など)

(仮称)彦根総合運動公園

- 競技場は一般のスポーツ利用やイベント利用
- 緑の広場はさまざまな遊び、憩いなど多目的利用
- 第3種陸上競技場東側駐車場の一部を日常的に広場として利用

金亀公園

- これまでの利用に加えて、自由な多目的広場でスポーツ・運動利用